

私たちの環境重点テーマ -Our Environmental Priority Themes-

「富士通フロンテックグループ環境方針」に基づき、社会と協同し、豊かで美しい地球環境と持続可能な社会の発展を目指します。

わたしたち富士通フロンテックグループは、地球温暖化や生物多様性保全など企業をとりまくグローバルな環境課題の動向や、富士通グループの環境方針および中長期環境ビジョンに基づき、「富士通フロンテックグループ環境方針」を定め、本方針に基づいた「富士通フロンテックグループ環境行動計画」を策定し、実践しています。

「第10期環境行動計画」（2021～2022年度）においては、SDGs（持続可能な開発目標）とかかわりの深い「気候変動」や「資源循環」にかかわるテーマを中心に、幅広い活動項目を設定し、取り組んでいます。

富士通フロンテックグループ環境方針

理念

富士通フロンテックグループは、富士通グループ環境方針を順守し『環境にやさしい企業活動』を基本理念として、地球環境保全への取り組みを経営の最重要課題の1つであると認識して推進します。

ICT企業としてそのもてるテクノロジーと創造力を活かし社会の持続可能な発展に貢献します。また、事業活動にかかわる環境法や環境上の規範を順守するとともに、自主的な地球環境保全活動に努めます。

さらに、豊かな自然を次の世代に残すことができるようすべての組織と一人ひとりの行動により先行した取り組みを継続して追求していきます。

行動指針

- ① 製品・サービスのライフサイクルを通じ、すべての段階において環境負荷を低減する。
- ② ICTプロダクトとソリューションを通じ、お客さまや社会の環境負荷低減と環境効率の向上に貢献する。
- ③ 省エネルギー、省資源および3R（リデュース・リユース・リサイクル）を強化したトップランナー製品を創出する。
- ④ 活動、製品およびサービスが環境に与える影響を常に認識し環境関連法規制、その他の要求事項、自主基準等を順守しCSRを果たす。
- ⑤ 活動、製品およびサービスにかかわる環境影響評価結果に基づき、汚染の予防および継続的な改善を図る。
- ⑥ 『社会への貢献』と『自らの事業活動』において、環境目的・目標の設定、見直しを行い、全員参加で一人ひとりが気候変動対策や生物多様性保全をはじめとした地球環境保全に努める。

代表取締役社長

川上博子

目次	頁
私たちの環境重点テーマ	01
ご挨拶	02
会社概要／事業内容	03
環境マネジメントシステム	04
環境行動計画	05～07
TCFDへの対応	08
FUJITSU Climate and Energy Vision	09
SDGsへの取り組み	10
グローバルビジネス	11～12
ソリューション・サービスビジネス	12～13
ステークホルダー・エンゲージメント	14
環境データ	15～19
環境コンプライアンス／事業活動および環境負荷	20
営業拠点・事業所・グループ会社	21
「環境報告ガイドライン2018年版」対応表	22

報告対象組織

当社グループの連結決算対象組織に当たる国内外の事業所・グループ会社が対象になります。なお、報告は環境負荷の大きい拠点の情報を中心に構成し、各ページにおいてその対象組織を記載するよう配慮しました。

報告対象期間

2020年度（2020年4月1日～2021年3月31日）の活動を中心に報告しており、記載しているデータはその実績値です。ただし、重要な報告については、一部、2021年度の情報を含みます。

参考ガイドライン

環境省発行「環境報告ガイドライン2018年版」（同ガイドラインへの対応表は、P22に掲載。）

報告形式

ペーパーレス推進の観点より、当社グループ公式WebサイトにおけるPDF版での報告のみとなります。

発行 2021年10月
 発行責任者 代表取締役社長 川上 博子
 企画・編集責任者 環境管理センター長 福井 孝